

JA北びわこ営農情報の



LINE

はじめました！

公式アカウント



◇LINEアプリで左の
QRコードを読み取る
または、
◇[@977svkrw]
で友だち検索

水稻情報

◆現在の生育状況

5月中旬にかなり高温となり、以降も概ね気温はやや高く推移し、「みずかがみ」や「コシヒカリ」などの早生品種では生育が平年より早まっています。

また、「あきたこまち」や「みずかがみ」などの極早生品種の出穂以降、管内においても稲穂にイネカメムシが確認されております。米の収量確保、品質向上に向けて、カメムシ防除の2回実施をお願いします。



写真:管内圃場にて撮影

◆斑点米カメムシ類について

**7月15日に斑点米カメムシ類被害
多発注意報が発令されました**

1.現在の状況について

水稻の斑点米発生の原因となる斑点米カメムシ類が、管内の圃場において多く確認しています。

今後、水稻が出穂すると畦畔や雑草地の斑点米カメムシ類が水田内に侵入し、水稻を被害する恐れがあります。

今年も夏の猛暑が予測され、斑点米カメムシ類の大量発生が懸念されます。

2.被害について

斑点米カメムシ類は、畦畔などのイネ科雑草に生息して増殖しており、水稻の出穂後、本田に侵入して穂(粃)の汁を吸います。吸汁された粃内の玄米は、斑点米となり、品質低下の原因となります。大型種であるホソハリカメムシ、クモヘリカメムシやミナミアオカメムシなどは吸汁能力が高く、斑点米を多く作るため被害が大きくなります。



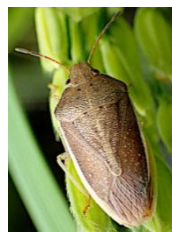
ホソハリカメムシ



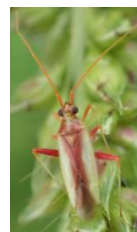
クモヘリカメムシ



ミナミアオカメムシ

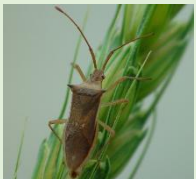


イネカメムシ



アカスジカスミカメ

3.斑点米カメムシ類の特徴

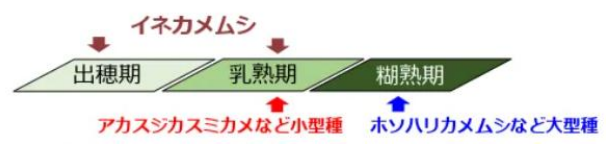
種類	写真	体長	主要発生地	特徴
ホソハリカメムシ		9～11mm	関東以西	水田周辺の雑草地で発生し、稲が開花を始めると、成虫が水田に飛来し、吸汁被害をはじめます また、稲への産卵により幼虫が増殖し、登熟中期以降は水田内で発生した幼虫・成虫が激しく加害します
クモヘリカメムシ		15～17mm	西日本全域から 関東・南東北の太平洋側	イタリアンライグラス圃場で発生がみられ、繁殖した第1世代成虫が近隣の水稲へ移動し加害します。水稲収穫後は主に畦畔のエノコログサ、メヒシバを餌として第2世代が成育します 登熟初期に水田へ侵入した成虫が産卵するので、登熟中期以降にふ化した幼虫が急増し、子実粒を加害します。登熟期の幼虫防除が重要で、出穂10～14日後の本田防除が有効です
ミナミアオカメムシ		12～16mm	本州 四国 九州	水田内で世代を繰り返すことができるので、登熟中期から後期には水田内の幼虫・成虫密度が急増します 水田周辺の畑や雑草地からの飛来量も多いです
イネカメムシ		13mm	関東 東海 近畿	7月頃から水田に飛来し、稲を加害します 斑点米及び不稔米を発生させる恐れがあり、発生量が多いと大幅な減収につながる恐れがあります
アカスジカスミカメ		5～6mm	北日本の太平洋側及び 中国・近畿	卵で越冬し、イタリアンライグラス等のイネ科植物に産卵増殖 水稲出穂以後に発生する第2世代以降の成虫が水田に飛来侵入し、吸汁加害します

4.斑点米カメムシ類の防除について

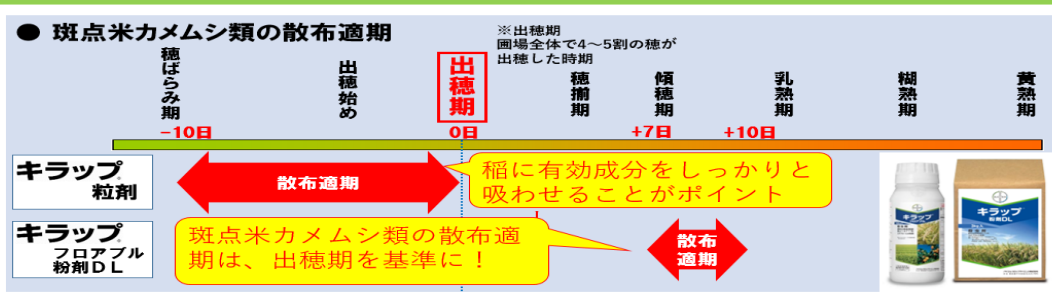
斑点米を防ぐためにも**必ず散布適期に2回の薬剤散布を実施**してください！

1回目散布剤型	2回目散布剤型	散布時期（1回目）	散布時期（2回目）
キラップ® 粒剤	キラップ® 粒剤	穂ばらみ期 (出穂 10 日前)	穂揃期 (出穂 3 日後)
キラップ® 粒剤	キラップ® フロアブル/粉剤 DL	穂ばらみ期 (出穂 10 日前)	乳熟期 (出穂 10 日後)
キラップ® フロアブル/粉剤 DL	キラップ® フロアブル/粉剤 DL	穂揃期 (出穂 3 日後)	乳熟期 (出穂 10 日後)

※イネカメムシの防除については出穂期に1回目、出穂期の7～10日後に2回目の薬剤散布を行います。
 ※「環境こだわり栽培」では、栽培基準以上に使用しますと環境こだわり認証の対象外になりますのでご注意ください。(栽培基準: 化学合成農薬の延べ使用成分数7成分以内)



キラップ剤の上手な使い方



- 水管理について(キラップ粒剤)
- 散布時は湛水状態(水深3～5cm)とし、水口および水尻を止めてください。
 - 散布後少なくとも4～5日間は湛水状態を保ち、7日間は落水およびかけ流しをしないでください。

令和8年産米の出荷について

令和8年産米の出荷に向け、JAでは下記方法で米の出荷作業労力の軽減をお手伝いします。

・個人調製米の庭先集荷

お電話にて作業所等へ米の集荷に伺います。

・個人調製フレコン出荷

主食用米：今年産よりJAに出荷契約を頂いた全品種でフレコン出荷可能となります！

水田活用米穀：輸出用米・飼料用米



令和7年産より主食用玄米の端量のフレコン出荷が可能となりました。

端量米の出荷は、JAのフレコン(青色)ではなく、別途購入をお願いします。

端量米の正味重量は30kgで割れる数量、また余マスは正味重量×1.0125(少数は切り上げ)でお願いします。

例) 正味重量: $300\text{kg} \times 1.0125 = 303.75\text{kg}$ $304\text{kg} + 3\text{kg}$ (フレコン重量) = 307kg

※ただし、乾燥ロットごとの端量のフレコン出荷はご遠慮下さい。

フレコンでの出荷により、作業の軽減ができます。

※計量機等の設備が必要となります。

・乾燥調製施設への主食用米の本乾燥粳出荷

自家乾燥した粳(水分16%以下)を低料金にて施設で荷受けします。

粳摺り・粳殻捨て等の作業から解放されます。

利用料金 乾粳60kgあたり 1,122円(税込)

※立毛での圃場乾燥は対象としません。

ご利用につきましては、**事前のお申込みが必要となります。**

別途申込用紙がありますので

詳しくは各地域のTAC担当へお問い合わせ下さい。

経営所得安定対策等交付金について

ゲタ対策・水田活用の直接支払交付金等における

自然災害等発生時の対応について

畑作物の直接支払交付金及び水田活用直接支払交付金等については、自然災害等により、**減収や収穫皆無となった場合でも、一定の条件を満たせば交付対象となります。**その際には、**被害状況等の確認が必要になりますので、働き込む前に、必ず、農業再生協議会へご相談ください。**

【必要書類】

- ① **作業日誌等**の生産記録(耕起、播種、防除など)
- ② **資材の購入伝票等**(農薬、肥料、種子など)
- ③ 被害状況や対策状況の**「写真」**(撮影日・地名地番入り)



詳しくは長浜市農業再生協議会事務局(TEL.0749-65-6520)までお問い合わせください。

土壌分析

対象者

すべての農家

分析点数

1件あたり5点までとします。(5圃場)

土壌分析基本項目

水 田:pH、CEC、りん酸、石灰、苦土、加里、けい酸

その他:pH、EC、CEC、硝酸態窒素、りん酸、石灰、苦土、加里

5点まで無料!



イラスト:フリー素材「いらすとや」より引用

土壌分析 随時募集中!!
各地域のTAC担当までお気軽にお申し付けください!!

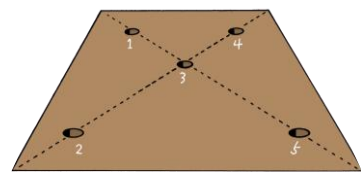
土のサンプルの採り方

土を採る場所と時期

1

圃場の中央と対角線の5カ所から採り、合わせて均一にしてください。

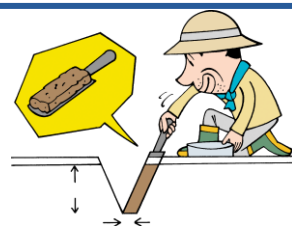
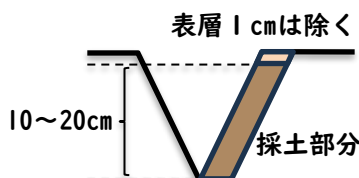
収穫後、次作の作業(耕起・施肥)前に採土しましょう。



土の採り方

2

表土1cmくらいを除いてから、深さ10~20cmの作土を移植ごてで均等に採取します。



採取した土を乾かす

3

採取した土は、新聞紙などの上に薄く広げ、風通しの良い日陰で1週間ほど乾かします。



乾かした土を篩にかける

4

乾かした土を1mmの篩に通して、細かい土を集めます。篩の上に残った土は、軽く砕いて、また篩に通します。



サンプルを土壌採取袋に入れる

5

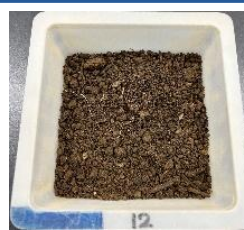
所定の土壌採取袋(封筒)に土のサンプルを入れ、必要事項を書き込んで、JAの担当職員へお渡しください。

全国農業協同組合連合会 滋賀県本部 生産資材部 生産資材課 営農技術室 行	
土壌採取袋	
私は裏面に記載の「個人情報の取扱いに関する同意事項」に同意の上、土壌分析を申し込みます。	
土壌はココまでいれる(約100g)↑	
※太枠網掛けは生産者記入欄	
圃場名	支店 支所
採取年月日	年 月 日
生産者氏名	
採取場所(地名等) ※無地の場合は、「□にチェック」(※)してください	
☐ 施設	
予定作物名	
①水稲 ②粟 ③大豆 ④その他()	
前作物	
①水稲 ②粟 ③大豆 ④その他()	
備考	

良い例



篩がけが不十分な例



※土壌分析の結果の返却は申込日より約1か月かかりますので、計画的に土壌分析の準備を行ってください!

中耕培土(2回培土で生育促進)

中耕・培土は雑草防除や倒伏防止だけでなく、大豆の生育を促進させる重要な作業になります。作業が遅れると根を痛めるため、開花始めまでに必ず2回行いましょう！

＜効 果＞

- ① 土壌の通気性が良くなり、根粒菌や根の活性が高まります。
- ② 新しい根の発生が促され、生育後期の養分吸収が高まります。
- ③ 土壌の保水力が高まり、干ばつに強くなります。
- ④ 雑草の発生を抑えます。
- ⑤ 根張りを良くし、倒伏を防ぎます。
- ⑥ 排水・灌水がスムーズに行えます。



写真：中耕・培

＜方 法＞

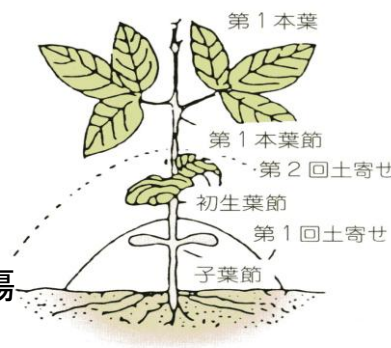
第1回目

本葉2～3枚の頃に子葉が隠れる程度の位置まで行います。

第2回目

本葉4～5枚の頃に初生葉が隠れる程度の位置まで行います。

中耕・培土は雑草防除や倒伏防止だけでなく、大豆の生育を促進させる重要な作業です。作業が遅れ開花期近くになると根を傷めるため、生育初期(播種後20～35日頃)に必ず2回行います。



☆右のような広葉雑草が多い場合は

短バサゲラン[®] (ナトリウム塩) 液剤 をおすすめします！



イヌタデ



アメリカセンダングサ

■適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当たりの使用量		本剤の使用回数	使用方法	ペンタゾンを含む農薬の総使用回数
			薬 量	希釈水量			
だいず	一年生雑草 (イネ科を除く)	だいの2葉期～開花前(雑草の生育初期～6葉期) 但し収穫45日前まで	100～150ml	100ℓ	1回	雑草茎葉散布 又は全面散布 (※)	2回以内 (畦間処理は 1回以内)
		だいの生育期(雑草の生育初期～6葉期) 但し収穫45日前まで	300～500ml			畦間雑草 茎葉散布	

※使用方法の表記が変更になりましたが、従来通りの方法でご使用できます。

☆イネ科雑草が多い場合は



をご使用ください！



写真：管内圃場にて撮影

作物名	適用雑草名	使用時期	使用回数	10aあたり使用薬量	10aあたり希釈水量	使用方法
だいず	一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)	雑草生育期 (イネ科雑草の3～10葉期) 収穫30日まで	1回	200～300ml	通常散布 50～100ℓ 少量散布 25～50ℓ	雑草茎葉散布又は全面散布



ファームプレスについて

ファームプレスとは・・・

JAの利用者がご利用頂ける**登録無料**のインターネットサービスです。

QR→



ファームプレス

検索

1. 仮登録

ファームプレス新規登録方法

2. 本登録

ステップ 01

本チラシ表面のURL、QRコード、インターネット検索のいずれかからログイン画面を開き、「新規利用申込」ボタンをタップ。



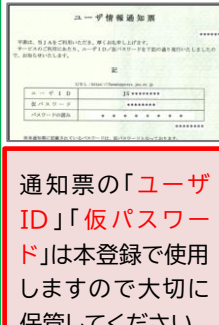
ステップ 02

利用申込フォームの項目(JA名、取引先コード、生年月日)を入力し、「利用申請」ボタンをタップ。続いて表示される確認画面で「利用申込」ボタンをタップ



ステップ 03

申込完了画面が表示されます。JAから「**ユーザ情報通知票(ハガキ)**」をお届けします。到着までお待ちください。



ステップ 01

JAからユーザ情報通知票(ハガキ)が送付されましたら、ファームプレスのログイン画面を開き、通知票に記載の情報をご入力ください。



ステップ 02

「ユーザID」「メールアドレス」「新パスワード」を入力し、「登録」を選択します。パスワード変更後は、一度「ログアウト」してください。



ステップ 03

ログイン画面からユーザIDと新たに設定したパスワードでログインします。



ファームプレスの機能

①いつでもどこでもスマホやPCから帳票・請求書を見ることが出来る！

②帳票や農業収支のデータを印刷・ダウンロードが出来る！

③帳票が更新されるとメールで通知される！



項目	内容	単位	金額
1. 稲作	2023.05.01~2023.05.31	100000	4,230
2. 稲作	2023.05.01~2023.05.31	100000	3,790
3. 稲作	2023.05.01~2023.05.31	100000	3,790
4. 稲作	2023.05.01~2023.05.31	100000	3,790
5. 稲作	2023.05.01~2023.05.31	100000	3,790
6. 稲作	2023.05.01~2023.05.31	100000	3,790
7. 稲作	2023.05.01~2023.05.31	100000	3,790
8. 稲作	2023.05.01~2023.05.31	100000	3,790
9. 稲作	2023.05.01~2023.05.31	100000	3,790
10. 稲作	2023.05.01~2023.05.31	100000	3,790
11. 稲作	2023.05.01~2023.05.31	100000	3,790
12. 稲作	2023.05.01~2023.05.31	100000	3,790
13. 稲作	2023.05.01~2023.05.31	100000	3,790
14. 稲作	2023.05.01~2023.05.31	100000	3,790
15. 稲作	2023.05.01~2023.05.31	100000	3,790
16. 稲作	2023.05.01~2023.05.31	100000	3,790

滋賀県農畜水産業経営強化緊急対策事業費補助金について

二次募集の予算が当初の2.5億円から7.4億円に増額されました！

滋賀県農畜水産業経営強化緊急対策事業費補助金

募集期間

令和8年4月1日(水)~4月30日(金)

2次募集

令和8年7月1日(水)~7月31日(金)

補助対象期間

交付決定日~令和8年12月31日(金)

申請方法

システムから電子申請



◆ 募集要項

気候変動の影響や、生産コスト高騰の長期化等厳しい状況にある県内農畜水産業者に対し、生産性・品質向上に向けた機器導入や県産食材の販路拡大等に必要な経費を支援するため、「滋賀県農畜水産業経営強化緊急対策事業」を実施

◆ 募集期間

二次募集: 令和8年7月1日(水)~7月31日(金)

◆ 補助内容等

補助率	補助上限額	補助下限額
1/2	200万	10万

※一次募集 申請結果

申請総数 : 1,068件

申請総額 : 約12.4億円

交付決定件数: 806件

滋賀県農畜水産業経営強化緊急対策事業費補助金ホームページ
詳細はこちらから→



令和8年度 農業機械研修のご案内

滋賀県立農業大学校と株式会社 滋賀重農機整備センターで農業機械研修が実施されます。

農業機械の実技・点検に関する基本項目について、**大型特殊農耕用免許・農耕用けん引免許**の取得を希望される方は、受講されてはいかがでしょうか。

・ **農業機械研修Ⅰ** ※受講申し込みが定員に達した場合、抽選となります。



	研修の種類	研修日時	定員	申込期日
1	農業機械基本研修(実技編)	令和8年10月29日(木) 9:00～15:00	20名 先着順	令和8年9月3日(木)～ 9月24日(木)
	研修場所:滋賀県立農業大学校(近江八幡市安土町大中503)			
	農作業初心者に向けた農作業安全・農業機械基礎知識、トラクタによる耕うん作業、草刈り作業の基本など、初歩的な技能の習得			
2	農業機械基本研修(点検編) ※受講料が必要	令和8年12月9日(水) 9:00～16:00	20名 先着順	令和8年10月19日(月) ～11月9日(月)
	トラクタ及びコンバインの点検整備と簡単な修繕技能の習得			
	研修場所:滋賀重農機整備センター(野洲市小篠原大岩山2-1)			

受講申し込みは、しがネット受付サービスの申込フォームに必要事項を入力し応募ください。

なお、申込期日内でも受講申し込みが定員に達した場合は、その時点で申し込みが締切となります。

・ **農業機械研修Ⅱ** ※受講申し込みが定員に達した場合、抽選となります。



	研修の種類	研修日時	定員	申込期日
1	トラクタ 基本研修	令和8年10月5日(月)～9日(金) 9:00～16:00	20名 抽選	令和8年8月24日(月) ～8月31日(月)
2	けん引研修 ※大型特殊免許 (農耕限定含む) 取得者対象	①令和8年10月19日(月)～23日(金) 9:00～16:00	各15名 抽選	令和8年9月7日(月)～ 9月14日(火)
		②令和8年11月9日(月)～13日(金) 9:00～16:00		

研修場所:滋賀県立農業大学校(近江八幡市安土町大中503)

受講申し込みは、願書と「市町長」または「農業協同組合代表理事組合長・農業協同組合代表理事理事長」の推薦書を農業大学校へ持込または郵送により提出し申込となります。
なお、個人申込に限り受付となり、募集期間前の申込はできません。受付後、本人宛に「受講承認書」が送られますが、申込が多い場合は抽選となります。

受講を希望される方は各地域TACにお問い合わせください！

農作業中の熱中症を 予防しましょう!!

夏に向けて、農作業中に熱中症になる人が増えてきます。

熱中症は正しい知識を身につけることで、適切に予防することが可能です!!

* 農作業中の熱中症 *

- 毎年、約**30名**の方が農作業中の熱中症により**死亡**
- 死亡事故の約**85%**が**7～8月**に発生している一方で3～6月にも発生



* 予防のポイント *

暑さを避ける

高温時の作業は極力避け、日陰や風通しのよい場所で作業



こまめな休憩と水分補給

喉の渇きを感じる前に、こまめに水分・塩分を補給



単独作業は避ける

複数名で作業を行う、時間を決めて連絡をとり合う



熱中症対策アイテムの活用

帽子や吸湿速乾性の衣服の着用、空調服や送風機の活用



そのほか、日々の体調管理など熱中症に負けない体づくりをしておきましょう!

